

女性のための健康講座
足と靴から考える日々の健康
日時 12月4日(火)10時～11時30分
場所 総合体育館
対象 市内在住の女性20人(申込制(先着))
申込 11月16日(金)17時までに☎で(平日のみ)
問合せ スポーツ推進課推進担当☎(82)7136

防災・消防

広げよう 救命の輪
応急手当普及員養成講習会(24時間)
日時 11月17日(土)・18日(日)9時～18時
場所 消防署北棟
内容 心肺蘇生法などの指導技術習得と、後日に行う実践的研修(2回)で指導者を目指す
対象 市内在住・在勤・在学の16歳以上で、過去2年以内に上級または普通救命講習会を修了した方16人(申込制(先着))
申込 10月15日(月)～11月8日(木)に☎で
ほか テキスト代4937円(予定)。応急手当普及員養成講習会2日間の受講と市内で開催される救命講習会での研修2回を実施後、認定を受けた受講者に認定証を発行
問合せ 消防指導課消防指導担当☎(85)4594

広げよう 救命の輪～普通救命講習会(救急法)
心肺蘇生法、AEDの使用法ほか
日時 11月25日(日)9時～12時
場所 松林公民館
対象 市内在住・在勤・在学で中学生以上の方25人(申込制(先着))
申込 10月25日(木)～11月18日(日)に松林公民館☎(52)1314へ
ほか 受講者には修了証を発行
問合せ 消防指導課消防指導担当☎(85)4594

文化・歴史

演劇体験ワークショップ「オトナ編」

日時 10月27日(土)14時～17時
場所 市総合体育館
講師 ヒトビト劇場
対象 18歳以上の方20人(申込制(先着))
申込 10月26日(金)までに☎で
ほか 費用1000円(傷害保険料込み)
問合せ 市民文化会館☎(85)1123

まなびの市民講師自主企画講座

みんなで懐かしのフォークソングを歌おう

日時 10月29日(月)14時～16時
場所 勤労市民会館
講師 矢嶋望さん(まなびの市民講師)
対象 20歳以上の方15人(申込制(先着))
申込 10月15日(月)～矢嶋☎090(9233)0273へ
ほか 費用100円
問合せ 矢嶋望☎090(9233)0273、文化生涯学習課生涯学習担当

初めてのパソコン・タブレット入門講座①タブレット体験

②パソコンでワード(年賀状作成)とインターネット

日時 ①11月13日(火)～15日(木)②11月20日(火)～22日(木)
場所 市役所分庁舎1階展示室
講師 パソコンボランティア湘南
対象 ①60歳以上の方②一般・障害のある方各10人(申込制(先着))

申込 10月22日(月)～☎で
ほか 費用1000円(テキスト代)。フォローアップあり
問合せ 文化生涯学習課生涯学習担当

2018年度市民文化祭

11月の催し物

日時 11月1日(木)～28日(日)

舞台部門

行事名	日時(11月)	場所(文化会館)
吟剣詩舞道大会	3日(土・祝) 9時40分～16時	小ホール
三曲演奏会	4日(日) 11時30分～16時	大ホール
琵琶のつどい	4日(日) 12時30分～16時	小ホール
市民音楽祭クラシックコンサート	10日(土) 13時～17時45分	小ホール
シャンソン&カンツォーネのつどい	17日(土) 13時～16時	小ホール
市民音楽祭クラシックヴォーカルコンサート	18日(日) 14時～16時	小ホール
洋舞の会	18日(日) 13時30分～16時30分(予定)	大ホール

展示部門

菊花展	1日(木)～13日(火)	9時～16時	総合体育館前庭
写真展	2日(金)～3日(土・祝)	9時～17時	展示室
	4日(日)	9時～16時	
盆栽展	9日(金)	13時～17時	展示室
	10日(土)	9時～17時	
	11日(日)	9時～16時	
書道展	16日(金)・17日(土)	10時～17時	展示室
	18日(日)	10時～16時	

文芸部門

茶会(費用1席350円)	3日(土・祝)	10時～15時	大会議室・練習室
--------------	---------	---------	----------

問合せ 文化生涯学習課文化推進担当

「宝くじおしゃべり音楽館」に出演する市民合唱グループを募集

2019年2月9日(土)に開催の「宝くじおしゃべり音楽館」(春風亭小朝、島田歌穂、小原孝ほか出演)の第2部に出演する合唱グループを募集します。

対象 5人以上(小学生以上)のグループ60人程度(申込制(先着))

申込 10月24日(水)～11月14日(水)に☎で

問合せ 市民文化会館☎(85)1123

生活

10月は巡回連絡の強化月間

警察官の巡回にご協力を

10月は巡回連絡の強化月間です。茅ヶ崎警察署の地域課の職員が各種犯罪の防止を兼ねて、みなさんのご自宅を訪問する巡回連絡を実施します。犯罪の予防や情報をお伝えし、警察に対するご意見をお伺いする活動です。ご協力をお願いします。

問合せ 安全対策課安全対策担当

交通安全・防犯市民総ぐるみ運動推進大会

表彰式典の開催

日時 10月19日(金)15時～
場所 市役所分庁舎コミュニティホール

内容 交通安全や犯罪防止に貢献した方などの表彰と防犯に関する腹話術講演

問合せ 安全対策課安全対策担当

無料行政相談会～国県市への要望や問い合わせ、税金、登記、年金、相続などの法律問題など

日時 10月24日(水)13時～16時(受付15時30分まで)

場所 市役所本庁舎市民ふれあいプラザ

問合せ 市民相談課市民相談担当

湘南看護専門学校入学試験

①②社会人③一般

日時 ①10月27日(土)②11月17日(土)③12月15日(土)

対象 高校卒業程度

申込 ①10月22日(月)まで②10月29日(月)～11月12日(月)③11月19日(月)～12月10日(月)(いずれも必着)に必要書類を、〒251-0861藤沢市大庭5062-3湘南看護専門学校へ

ほか 詳細は湘南看護専門学校☎参照

問合せ 湘南看護専門学校☎0466(86)5440

秋の里山公園まつり(イベント、模擬店)

里山でハロウィン、収穫の秋を体感しよう

日時 10月28日(日) 10時～14時

場所 県立茅ヶ崎里山公園

問合せ 県立茅ヶ崎里山公園☎(50)6058

まなびの市民講師自主企画講座

木版画で年賀状を作製する

日時 11月4日(日)9時30分～15時30分

場所 市民ギャラリー

講師 中村慶一さん(まなびの市民講師)

対象 20歳以上の方15人(申込制(先着))

申込 11月3日(土・祝)までにはがきに住所・氏名・電話番号、木版画の経験有無を記入し、〒253-0013赤松町12-62中村慶一へ

ほか 費用500円

問合せ 文化生涯学習課生涯学習担当

暮らしの料理教室～和のおもてなし料理

でお正月を彩ろう

日時 12月5日(水)10時30分～14時

場所 男女共同参画推進センターいこりあ

内容 じゃこと枝豆のおこわ、副菜、デザート(全6品)

講師 茅ヶ崎市食生活改善推進団体

定員 24人(申込制(抽選))

申込 10月15日(月)～11月9日(金)に☎で(市圏も可)

ほか 費用700円。託児未就学児4人(申込制(抽選))

問合せ 市民相談課消費生活センター

JR茅ヶ崎駅南口マナースペースを

10月中旬から一時的に閉鎖

JR茅ヶ崎駅南口マナースペースの分煙環境の向上のためボックス型の喫煙所を設置します。工事に伴い、10月中旬(詳細は現地掲示)から工事完了まで使用できませんので、北口のマナースペースをご利用ください。工事完了は12月上旬の予定です。

問合せ 環境政策課環境政策担当

市制施行70周年記念特別表彰

10月1日、市政の発展に貢献いただいた方へ市制施行70周年記念特別表彰の贈呈を行いました。(敬称略)

〈受賞者〉▷徳光和夫(フリーアナウンサー)

問合せ 秘書広報課秘書担当

市表彰

10月1日、長年にわたり市政の発展に貢献された、自

(6面へ続く)

茅ヶ崎ゆかりの人物たち

第四回 九代目市川團十郎

歌舞伎役者の市川海老蔵さんが系譜を継ぐ江戸歌舞伎の代表的な家系「成田屋」。高祖父の九代目市川團十郎は歌舞伎界に革新をもたらした人物です。茅ヶ崎を愛し、別荘「孤松庵」を建築。鉄砲道沿いの平和町第一公園の一角には団十郎山の碑があります。

明治期の歌舞伎界を支えた名優

九代目市川團十郎は、1838年、七代目團十郎の五男に生まれました。1874年、九代目市川團十郎を襲名。明治期の歌舞伎界を支え、五代目尾上菊五郎、初代市川左團次とともに「團菊左時代」を築き、成田屋のお家芸となる新歌舞伎十八番を制定するなど、数多くの功績から劇聖といわれました。

文明開化の風潮の中で、それまでの荒唐無稽な歌舞伎から脱することを目指し、正確な時代考証、写実的な衣装やせりふ・演出などを重視する演劇改良運動に取り組みました。また、伊藤博文などの政治家や文化人との交流から役者の地位向上にも努めました。

1887年には、井上馨外相郎において、明治天皇の前で歌舞伎を演じました(大観歌舞伎)。井上馨による諸外国との不平等条約改正交渉がまとまった時期であり、日本にも近代的で高尚な演劇があることを列国の外交官に示す狙いがあったと推察されます。

しかし、川上座を筆頭とする新派の台頭により、團十郎は徐々に伝統的な歌舞伎舞台へと回帰し、古典劇に力を入れました。

年の半分を茅ヶ崎で

1896年、茅ヶ崎に広大な土地を購入し、別荘を建築。自生し



晩年の九代目市川團十郎

ていた一本松にちなんで、孤松庵と命名しました。演じた役の「相模の海を泉水に、富士の山を築山に…」というせりふに憧れのあった團十郎にとっては、茅ヶ崎はまさに希望と夢の場所でした。釣りや趣味で「芝居がなければ茅ヶ崎で暮らす」というほど茅ヶ崎を愛し、避暑・避寒を中心に年の半分は滞在したといえます。

晩年の團十郎にとって、孤松庵は良い後継者養成の場所でもありました。一番の愛弟子は、盟友五代目菊五郎の息子、丑之助(のちの六代目菊五郎)で、かねてより丑之助の才能に目をつけていた團十郎は、弟の栄造(のちの六代目坂東彦三郎)とともに、孤松庵で厳しく指導しました。五代目菊五郎の急逝を受けて丑之助が六代目菊五郎を襲名した時には口上を務め、年少の丑之助の通称を現代も代名詞として残る「六代目」としたのも團十郎でした。

1903年、團十郎は孤松庵で没しました(享年66)。孤松庵があった土地は約1万9800㎡あったといわれ、地元では今でも団十郎山と呼ばれ親しまれています。

【文化生涯学習課市史編さん担当】
 茅ヶ崎ゆかりの人物館では、10月13日(土)～2019年3月31日(日)、企画展「劇聖 九代目市川團十郎と孤松庵」を開催し、團十郎の功績や茅ヶ崎での生活を貴重な資料とともに紹介します。